



令和4年7月27日  
東日本高速道路株式会社

## 新たな高速道路サービス創出と地域社会の課題解決に向けて 『ドラぷらイノベーションラボ』 第2期共創パートナー募集開始！

NEXCO東日本(東京都千代田区)は、アクセラレータープログラム『ドラぷらイノベーションラボ』(以下、本プログラム)の第2期パートナー企業募集を2022年8月1日より開始します。



### 1. プログラム実施の背景

当社はこれまでお客さまの「安全・安心・快適・便利」を追求し、地域と地域を“つなぐ”インフラを担う企業として“ヒト”と“モノ”の移動を支えてきました。近年、テクノロジーの進化や社会における価値観が多様化する中、我々も“ヒト”と“モノ”の移動における新たな「価値」をもたらし、持続可能な社会の実現に貢献する必要があると考えています。

新たな高速道路サービスの創出と実現に向け、様々なビジネス領域で大きな成長を志向するビジネスパートナーと、多くの強みを有する当社との共創による変革の加速を目指し、2021年に高速道路会社初のアクセラレータープログラムをスタートしました。第1回採択企業5社を始め、当社若手社員等の強い推進力によって、新たなサービス実現に向けた実証実験を展開しています。(※別紙「参考資料」参照)

### 2. プログラム内容

本プログラムは、新たな技術や、革新的なビジネスアイデアを有し、未来の高速道路サービスに向けたイノベーションに意欲的な共創パートナーと、当社が保有する高速道路やサービスエリア・パーキングエリア(以下、SA・PA)などの実証フィールド、リソースや検証予算等を活用しながら、社会課題を解決し、ヒト・モノ・コトの移動に「新たな価値」をもたらすサービス・プロダクトの社会実装を目指します。



### 3. 募集テーマ

本プログラムでは、以下4つのテーマにおける共創パートナーを募集いたします。

#### ① “ヒト”“モノ”の移動をアップデートする

北海道から関東まで3,943km、1日約274万台が利用するNEXCO東日本の高速道路。ドローンや自動運転が当たり前になる社会で、「安全・安心」や「快適・便利」を再定義し、ヒトとモノの移動における提供価値を向上させる。

(共創例)

- ・新たな交通社会における「安心・安全」の実現
- ・新しい「快適・便利」な移動による価値提供
- ・未来の移動体験の創出

#### ② SA・PAの価値向上、新たな顧客体験の創出

東日本エリア328カ所、高速道路ユーザーの憩いの場としてのSA・PA。テクノロジー活用やソリューションによって新たな顧客体験を提供し、これまでの「休む場」としての存在以上にSA・PAの価値を向上していく。

(共創例)

- ・多様なユーザーへの「快適・便利」の提供
- ・SA・PAを“人が集まる場”へと変革
- ・SA・PAの新たな活用方法

### ③ SA・PAをハブとした地域の魅力創出・発信

日本全国、各地に様々な魅力・地域性が存在する。SA・PAはそれらの魅力に常に触れ、いつも地域経済に寄り添ってきた。そんなSA・PAが、都市と地域／地域と地域を“つなぐ”ハブとなり、地域経済を活性化する。

(共創例)

- ・SA・PAを“地域のショーウィンドウ化”する
- ・地域コミュニティを活性化させる場づくり
- ・地域連携による新たなビジネス機会の提供

### ④ サステナブルな事業運営の実現

人々の移動と経済を支えるインフラ企業だからこその責任。

カーボンニュートラル・循環型社会の実現、自然災害への対策、地域や沿道の生活環境の向上、人口減少・高齢化に適応した運営方法の確立など、いつの時代でもサステナビリティのある事業運営を実現する。

(共創例)

- ・脱炭素社会の実現
- ・循環型社会の実現
- ・インフラ機能の安定提供

## 4. スケジュール

本プログラムは、以下のスケジュールで実施します。

なお、本プログラムでの検証の結果、継続する価値が高いと判断した取り組みに対しては、事業化に向けて更なる投資等を行うことを検討します。

2022年8月1日	エントリー開始
2022年8月18日	プログラム説明会(オンライン開催) ※プログラム説明会への参加をご希望の方は、本プログラム専用サイトよりお申し込みください。なお、ご参加いただかなくても、本プログラムへの応募は可能です。
2022年9月7日	早期応募締切
2022年10月3日～31日	最終応募締切 書類選考・面談選考
2022年11月上旬	キックオフ／アイデアブラッシュアップ
2023年3月上旬(目途)～	PoC※判断

※PoC:Proof of Conceptの略。コンセプト検証

## 5. 応募資格

- ・法人登記がなされていること(企業規模は問いません)
- ・プロダクトや技術をお持ちであること

## 6. 応募方法

以下の本プログラム専用サイトからお申し込みください。

オープンイノベーションプラットフォームの「AUBA(アウバ)」上に専用サイトを公開します。

本プログラムの専用サイト:<https://eiicon.net/about/e-nexco-accelerator2022/>

## 7. 本プログラムに関するご質問・お問い合わせ

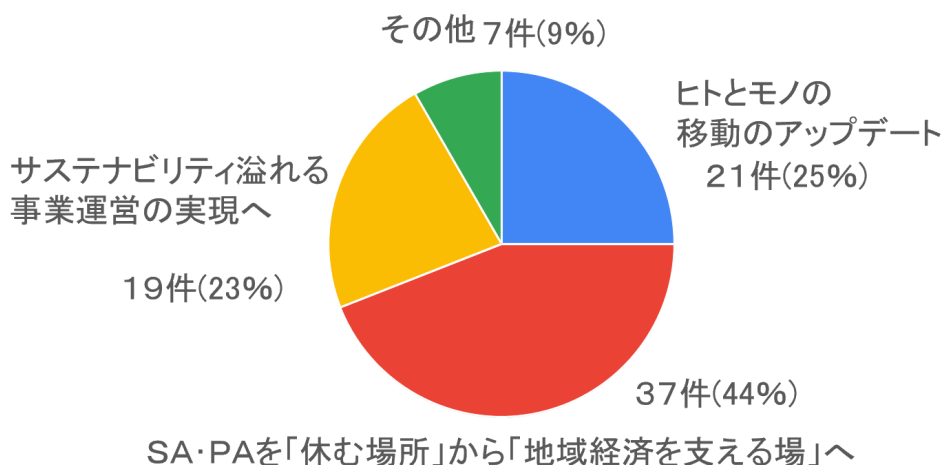
ご質問・お問い合わせは、以下までお気軽にお問い合わせください。

ドラぷらイノベーションラボ推進チーム [i\\_lab@e-nexco.co.jp](mailto:i_lab@e-nexco.co.jp)

## アクセラレータープログラム『ドラぷらイノベーションラボ』第1期 募集期間 令和3年9月1日～10月31日

応募総数：84件

### 応募テーマ内訳



採択企業：5社

企業名		提案内容
アルティマトラスト株式会社		SA・PAにおける流動解析
株式会社AirX		ヘリポートを活用した交通連携
株式会社デジタル・フロンティア		高精細な3DCGアバターによる有人遠隔接客サービスの活用
株式会社FaroStar		ドローンによる宅配と自動管制
株式会社Placy		音楽によるマップコンテンツ「プレイ"ス"リスト」を通じた地域の回遊性向上

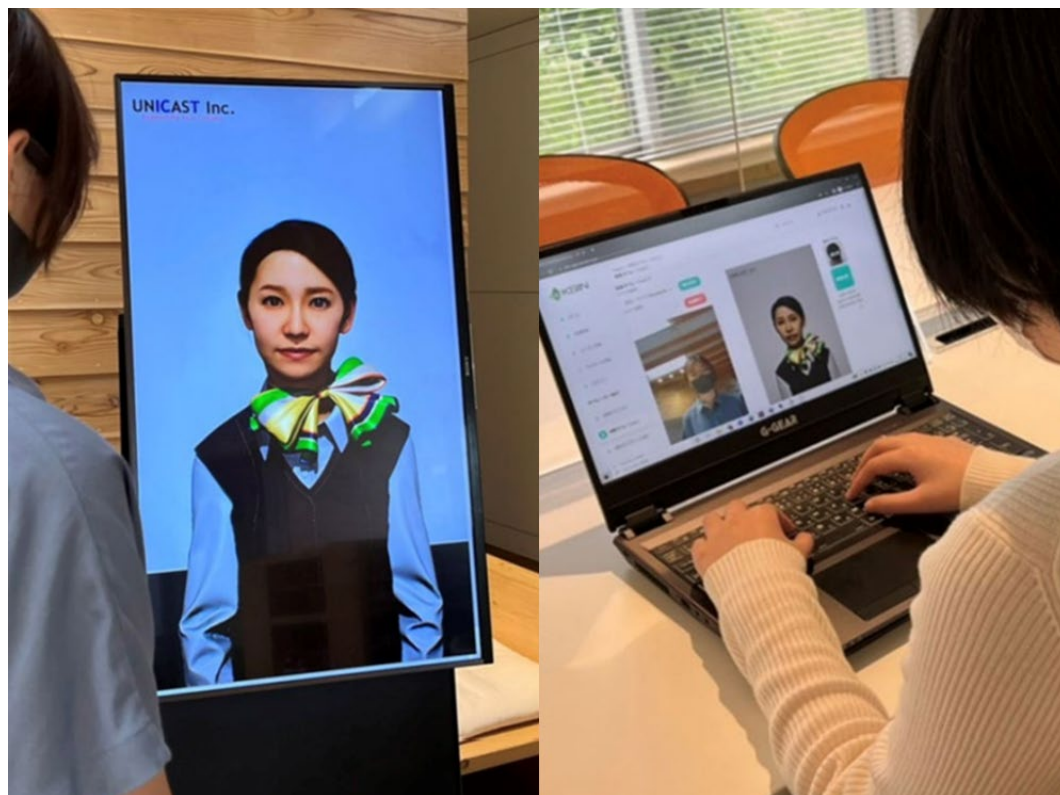
連携検討企業：3社

- ・ 特定非営利活動法人365ブンノイチ
- ・ 株式会社BONX
- ・ LOOVIC株式会社

株式会社デジタル・フロンティア × NEXCO東日本

## 3DCGアバターによる有人遠隔接客サービス

ドらぶら  
 INNOVATION LAB



会社名	デジタル・フロンティア
実施期間	令和4年6月14日(火)～6月27日(月)
実施場所	守谷サービスエリア(下り線) インフォメーションコーナー
実施目的	SA・PAの利用顧客に対して、アバターによる有人遠隔接客サービスを提供。従来の窓口業務を非対面で実施することによる業務効率化・働き方の多様性向上に加え、デジタルを活用した新たな顧客体験をSA・PAから発信していくことを想定したPoC。
実証概要	守谷サービスエリア(下り線)内のインフォメーションコーナーに、アバターを表示するデジタルサイネージを設置し、エリアコンシェルジェが遠隔で接客対応を行った。
活用技術	オンラインでのアバターによる有人遠隔接客サービス「KSIN」(読み仮名:けしん、商標出願中)を活用。操作する人間(オペレーター)の表情をリアルタイムにアバターに反映し、豊かな感情表現を実現。そのため、アバター越しでありながらも対面での接客のような自然なコミュニケーションが実現可能となる。

株式会社FaroStar × NEXCO東日本

ドローン自動管制・衝突自動回避システム

フラフラ  
 INNOVATION LAB



会社名	FaroStar
実施期間	令和 4 年5月18日(水)、19日(木)
実施場所	セデッテかしま東側森林(南相馬鹿島SA付近)
実施目的	将来の無人航空機やドローンの活用を視野に、これらの機体の安全な飛行の確保するための管制技術の実験を目的としたPoC。
実証概要	FaroStarが開発した衝突防止自動管制技術AURORA(オーロラ)を搭載したドローンを自動飛行させ、これに、仮想空間上で別のドローンを近づけ、自動で衝突を回避できるかを検証。
活用技術	衝突防止自動管制技術AURORAは、航空機やドローンの飛行情報を取得し、そのデータを基に衝突する可能性を検知すると、ドローンに回避可能なWP(ウェイポイント)※を指定して自動回避させ、衝突を回避できたと判定すると次のWPに誘導する技術。 これにより飛行経路内に別のドローンが接近した場合、飛行経路を一時的に変更し衝突を回避した後、もとの飛行経路に戻す一連のオペレーションを自動で行うことを可能とする。 ※WP(ウェイポイント): 事前に設定しておく航路の通過ポイント